

松本市人権関連施策一覧

【人権・男女共生課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
松本市 差別撤廃 人権擁護 審議会	<p>1 目的 市長の諮問に応じ、人権行政について調査 審議するもの</p> <p>2 会議 審議会開催 11月29日(金) 「人権施策取組み状況、人権相談事業」</p>	<p>1 目的 市長の諮問に応じ、人権行政について調査 審議するもの</p> <p>2 会議 審議会開催9月2日(水) 開催予定 「人権施策取組み状況、人権相談事業、 パートナーシップ宣誓制度」</p>
人権教育 啓発事業	<p>1 広報まつもとの啓発 ・人権啓発特集ページ(11月号) ・人権啓発コラム「心の橋をあなたから」 各課から寄稿(4回)</p> <p>2 出前講座他 企業・地区、職員研修</p> <p>3 講演会の開催 人権を考える市民の集い 令和元年11月24日(日) Mウイング6階ホール ・小・中学生人権啓発ポスター展表彰式 ・中学生人権作文コンテスト松本市表彰式 ・入選作文朗読 ・人権の花運動活動報告 ・人権啓発講演会 講演：障害者スポーツから学ぶ共生社会の 実現 講師 小林 俊介 氏 (山梨県ボッチャ協会会長) ・同時開催 ボッチャ体験・パネル展 (参加者 140名) 主催：松本市、松本市教育委員会、長野地方 法務局松本支局、松本人権擁護委員協 議会 共催：松本市地区人権啓発推進連絡協議会、 松本市企業人権啓発推進連絡協議会、 部落解放・人権政策確立要求松本市実 行委員会</p> <p>4 啓発資料の提供 (1) 人権啓発ポスター展 ア 市内小・中学生から募集した人権啓 発ポスター作品を展示(147点) ・令和元年11月27日(水)～12月1日(日) 松本市美術館 ・令和2年1月4日(金)～13日(月) 梓川アカデミア館 イ 最優秀作品2点のポスターを印刷し、</p>	<p>1 広報まつもとの啓発 ・人権啓発特集ページ(11月号) ・人権啓発コラム「心の橋をあなたから」 各課から寄稿(4回)</p> <p>2 出前講座他 企業・地区、職員研修</p> <p>3 講演会の開催 人権を考える市民の集い 11月開催で調整中 主催：松本市、松本市教育委員会、長野地方 法務局松本支局、松本人権擁護委員協 議会 共催：松本市地区人権啓発推進連絡協議会、 松本市企業人権啓発推進連絡協議会、 部落解放・人権政策確立要求松本市実 行委員会</p> <p>4 啓発資料の提供 (1) 人権啓発ポスター展 ⇒新型コロナウイルス感染症による臨時休 校等の影響から、関係課と検討の結果、 中止することとした。 (2) 人権啓発リーフレットの配布 松本市企業人権啓発推進連絡協議会加入 企業ほかへの配布 (3) 人権映画の日 Mウイング3階 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響によ り、一部中止 (4) 人権教育・啓発DVDの購入、利用促進 地域、企業、学校での人権教育・啓発研修 会等への貸出</p>

	<p>公共施設で掲示</p> <p>(2) 人権啓発リーフレットの配布 松本市企業人権啓発推進連絡協議会加入企業ほかへの配布</p> <p>(3) 人権映画の日（11回）Mウイング3階 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止</p> <p>(4) 人権教育・啓発DVDの購入、利用促進 地域、企業、学校での人権教育・啓発研修会等への貸出 ・VHS・DVD保有数 199本 ・貸出し本数66本</p> <p>5 地区人権啓発推進事業</p> <p>(1) 目的 市内35地区人権啓発推進協議会による地区内での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動 ア 総会、研修会 令和元年7月8日（月） 「生きて逝き去っていくということ」 ～性同一性障害の自らの経験から～ 講師 伊藤 ひより 氏 （シンガーソングライター） （参加者 54人） イ 人権同和古文書研究推進（学習会4回） ⇒新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止 ウ 各地区における人権教育・啓発事業の実施</p> <p>6 企業人権啓発推進事業 松本市企業人権啓発推進連絡協議会 （令和元年7月1日現在 会員企業282社）</p> <p>(1) 目的 企業人権啓発推進連絡協議会による職場での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動 役員会・総会・研修会 令和元年7月17日（水） 「SDGsと企業経営の関係 ～人権の視点から～」 講師 大室 悦賀 氏（長野県立大学 グローバルマネジメント学部教授） （参加者 60人）</p> <p>(3) 人権啓発講座 8月～11月 年間4回開催中 第1回 令和元年8月27日（火） メンタルヘルス～あなたもゲートキーパー “気づいてつなぐ心の支援”～ 講師 伊藤かおる 氏（株式会社コミュニ</p>	<p>5 地区人権啓発推進事業</p> <p>(1) 目的 市内35地区人権啓発推進協議会による地区内での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動 ア 総会、研修会 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響により、総会は書面表決、研修会は中止 イ 人権同和古文書研究推進 ウ 各地区における人権教育・啓発事業の実施</p> <p>6 企業人権啓発推進事業 松本市企業人権啓発推進連絡協議会 （令和2年7月1日現在 会員企業275社）</p> <p>(1) 目的 企業人権啓発推進連絡協議会による職場での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動 役員会・総会・研修会 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響により、役員会・総会は書面表決、研修会は中止</p> <p>(3) 人権啓発講座 ⇒新型コロナウイルス感染症の状況を見守りながら、9月末を期限に開催可否等を判断</p>
--	---	---

	<p>ケーションズ・アイ代表取締役社長) (参加者 11名) 第2回 令和元年9月24日(火) パワハラ防止に役立つ ～怒りのコントロール術～ 講師 土田 英文 氏(一般社団法人日本 アンガーマネジメント協会) (参加者 24名) 第3回 令和元年10月17日(木) 外国人と共に働く～「やさしい日本語」と コミュニケーション術～ 講師 佐藤 佳子 氏(特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク 日本語教育アドバイザー ) (参加者 10名) 第4回 令和元年11月26日(火) ワーク・ライフ・マネジメントを推進し、 すべての職員が輝ける職場環境の実現へ ～長野銀行 女性活躍推進の取組み～ 講師 中平 明美 市(長野銀行長野営業部 法人担当部長) (参加者 16名)</p>	
<p>多文化 共生推進 事業</p>	<p>1 目的 第10次基本計画に盛り込まれた「外国人 の人権を尊重し、国際交流を通して生活スタ イルや考え方を互いに認め合い、多文化共生 に対する意識醸成」に向けて、多文化共生 地域づくりを進めるため、多文化共生プラ ンに盛り込まれた各施策を推進するもの。 2 活動実績 (1) 多文化共生推進プランの進行管理 多文化共生推進協議会の開催(3回) (2) コミュニケーション支援 ア ポルトガル語相談員の設置 日系ブラジル人等に向けた相談窓口の 実施 相談件数1,261件/年 イ 多言語相談の実施 多文化共生プラザにおいて、英語、ポ ルトガル語、中国語、タガログ語、タイ 語での相談受付 相談件数377件/年(4月～3月) ウ 多言語情報の提供 本市で生活する上で必要となる情報を まとめた多言語ガイドブックをポルトガ ル語、中国語、やさしい日本語など8か 国語で作成し窓口等で提供。また多言語 情報をホームページに掲載。 エ 日本語学習支援の実施</p>	<p>1 目的 第10次基本計画に盛り込まれた「外国人 の人権を尊重し、国際交流を通して生活スタ イルや考え方を互いに認め合い、多文化共生 に対する意識醸成」に向けて、多文化共生の 地域づくりを進めるため、多文化共生プラン に盛り込まれた各施策を推進するもの。 2 活動計画 (1) 多文化共生推進プランの進行管理 多文化共生推進協議会の開催(5回) 第3次多文化共生推進プラン(案)作成 作業 (2) コミュニケーション支援 ア ポルトガル語相談員の設置 日系ブラジル人等に向けた相談窓口の 実施 イ 多言語相談の実施 多文化共生プラザにおいて、英語、ポ ルトガル語、中国語、タガログ語、タイ 語等11言語以上での相談に対応 ウ 多言語情報の提供 本市で生活する上で必要となる情報を まとめた多言語ガイドブックをポルトガ ル語、中国語、やさしい日本語など8か 国語で作成し、市ホームページへ掲載。 ネパール語追加し、9カ国語に対応予定。 エ 日本語学習支援の実施</p>

	<p>市内各公民館で開催されている日本語教室の開催を支援（中央公民館他）</p> <p>(3) 生活支援</p> <p>ア 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市総合防災訓練 外国人住民3人参加（岡田地区）</li> <li>・外国人住民のための防災ハンドブックをやさしい日本語版も含め7言語で作成し、市ホームページへ掲載</li> </ul> <p>イ 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本市子ども日本語教育センターの設置（学校指導課）</li> </ul> <p>NPO法人中信多文化共生ネットワークが受託。松本市に在住する外国人子弟の不就学をなくすとともに、市内小中学校に在籍し、日本語習得が十分でない外国人児童・生徒が学校生活に適應できるように日本語学習支援等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前ガイダンス、高校進学前ガイダンスの実施（いずれも学校指導課主催）</li> </ul> <p>(4) 多文化共生の地域づくり</p> <p>ア 地域社会に対する意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在住外国人による文化情報の発信及び交流イベント開催</li> <li>延べ13回開催、</li> <li>延べ333人参加</li> <li>・多文化共生フォーラム</li> <li>3月7日（土）開催予定も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止</li> <li>・出前講座（4回）</li> <li>80人参加</li> </ul> <p>イ 多文化共生プラザの設置運営</p> <p>NPO法人中信多文化共生ネットワークへ業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総利用者数 4,960人</li> <li>・相談件数 1,702件</li> <li>・多言語相談利用件数 377件</li> </ul> <p>ウ 外国人住民の自立と社会参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーパーソンネットワークの構築に向けた取組み 10月30日（水）意見交換会開催</li> <li>参加者26人（内 外国由来の方12人）</li> </ul> <p>(5) 多文化共生実態調査</p> <p>松本市における多文化共生に関して、日本人住民、外国人住民の意識や実態を把握するため、日本人住民1,000人、外国人住民1,400人、事業所277社に対するアンケート調査を実施。</p>	<p>市内各公民館で開催されている日本語教室の開催を支援（中央公民館他）</p> <p>(3) 生活支援</p> <p>ア 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害多言語支援センター設置訓練</li> <li>8月30日（日）</li> <li>・外国人住民のための防災ハンドブックをやさしい日本語版も含め7言語で作成し、市ホームページへ掲載。ベトナム語、ネパール語を追加し、9カ国語に対応予定</li> </ul> <p>イ 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本市子ども日本語教育センターの設置（学校指導課）</li> </ul> <p>NPO法人中信多文化共生ネットワークが受託。松本市に在住する外国人子弟の不就学をなくすとともに、市内小中学校に在籍し、日本語習得が十分でない外国人児童・生徒が学校生活に適應できるように日本語学習支援等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前ガイダンス、高校進学前ガイダンスの実施（いずれも学校指導課主催）</li> </ul> <p>(4) 多文化共生の地域づくり</p> <p>ア 地域社会に対する意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在住外国人による文化情報の発信及び交流イベント開催</li> <li>・出前講座及の実施</li> <li>・多文化共生フォーラムの開催</li> </ul> <p>イ 多文化共生プラザの設置運営</p> <p>NPO法人中信多文化共生ネットワークへ業務委託</p> <p>多言語など相談事業、情報発信、交流、異文化理解事業及び支援事業の実施</p> <p>ウ 外国人住民の自立と社会参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーパーソン研修会の開催</li> </ul>
--	--	---

<p>女性センター 相談事業</p>	<p>1 面接相談 心の悩みや夫婦の問題等生活全般について相談員による相談を実施。 時間 午後1時～午後4時 ※第4金のみ午後4時～午後7時 (月・火・木・金) 相談件数 217件 (前年246件)</p> <p>2 電話相談 (1) 電話相談 心の悩みや夫婦の問題等生活全般について相談員による相談を実施。 時間 午前9時～正午 (毎週火・金、第1・3水) 相談件数 128件 (前年129件)</p> <p>(2) 男性電話相談 仕事や人間関係等の悩みで生きにくさを感じている男性に対して、男性相談員による電話相談を実施。 時間 午後5時～8時 (毎週第2、3、4火) 相談件数 27件 (前年24件)</p> <p>3 女性弁護士相談 法律について女性のための女性弁護士による相談を実施。 毎月第2火・第4月曜日 午後1時30分～午後3時30分 相談件数 93件 (前年89件)</p>	<p>1 面接相談 令和元年度と同じ日程で実施予定</p> <p>2 電話相談 令和元年度と同じ日程で実施予定</p> <p>3 女性弁護士相談 令和元年度と同じ日程で実施予定</p>
------------------------	--	--

【行政管理課・平和推進課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
<p>松本市平和祈念式典</p>	<p>【松本市平和祈念式典】</p> <p>1 趣旨 松本市平和都市宣言が目指す「核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土」づくりを進めるため、平和祈念碑「平和の誓い」のもとに市民が集まり、平和の尊さを次世代に継承し、世界恒久平和の実現を祈念するため開催したもの</p> <p>2 期日 令和元年8月15日(木)</p> <p>3 内容 黙とう、折鶴献呈、広島平和記念式典参加中学生感想文発表、平和へのメッセージ、平和都市宣言朗読、平和合唱、原爆ポスター展の併設</p> <p>4 参加者 約800名</p> <p>【松本市平和の集い】</p> <p>1 趣旨 平成23年の国連軍縮会議の開催を機に、多くの市民に広がった平和の連鎖反応の継続を目的として開催したもの</p> <p>2 期日 令和元年8月15日(木)</p>	<p>【松本市平和祈念式典】</p> <p>1 趣旨 松本市平和都市宣言が目指す「核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土」づくりを進めるため、平和祈念碑「平和の誓い」のもとに市民が集まり、平和の尊さを次世代に継承し、世界恒久平和の実現を祈念するため開催したもの</p> <p>2 期日 令和2年8月15日(土)</p> <p>3 内容 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小して開催します。 式辞、黙とう、平和都市宣言朗読、平和の詩の朗読、平和へのメッセージ、平和合唱</p> <p>4 参加者 約70名</p>

	<p>3 内容 小学生による平和の詩の朗読、被爆体験伝承者講話</p> <p>4 参加者 約200名</p>	
広島平和記念式典参加事業	<p>1 趣旨 被爆地広島を訪れ、平和記念式典への参加や被爆体験者の講話等を通して、平和意識の向上を図ったもの</p> <p>2 期日 令和元年8月5日(月)～7日(水)</p> <p>3 内容 広島平和記念式典への参加、被爆体験者の講話、平和祈念資料館等の見学、レポート集の作成</p> <p>4 参加者 市内中学校の2年生代表42名、事務局5名</p>	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業中止しました。
松本市小中学生平和ポスター展	<p>1 趣旨 松本市平和都市宣言が目指す「核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土づくり」を進めるため、平和ポスター展を通じて、平和の尊さ、戦争の悲惨さを多くの皆さんに知っていただき、平和意識の高揚を図ったもの</p> <p>2 期日 令和元年10月31日(木)～11月4日(日)</p> <p>3 出展数 417点(小学生348点・中学生69点)</p> <p>4 会場 松本市美術館多目的ホール</p> <p>5 表彰式 佳作入賞者までの12人を表彰</p> <p>6 観覧者数 833名</p>	小中学校において長期にわたって臨時休校措置がなされ、夏休みの短縮等の措置がされたことから、現状においてポスター作成を依頼することは学校や子どもたちに負担を強いることから事業中止しました。
松本ユース平和ネットワーク	<p>1 趣旨 平和の連鎖を若者世代で途切れさせることなく、より一層広げていくため、若者が平和について考え、学習し、発信する機会を設けることで、松本から世界へ平和を発信できる人材の育成を図ったもの</p> <p>2 期日 通年</p> <p>3 内容 平和学習会、長崎市平和訪問、平和都市宣言の日イベントへの参加、小中学校出前授業、留学生意見交換会、フォトジャーナリスト安田菜津紀さんによる講演会の開催等</p>	<p>1 趣旨 平和の連鎖を若者世代で途切れさせることなく、より一層広げていくため、若者が平和について考え、学習し、発信する機会を設けることで、松本から世界へ平和を発信できる人材の育成を図ったもの</p> <p>2 期日 通年</p> <p>3 内容 平和学習会、長崎市平和訪問、小中学校出前授業、留学生意見交換会の開催等</p>
親子平和教室	<p>1 趣旨 平和の大切さや命の尊さについて親子で考え、若い世代に平和の連鎖を広げる取り組みとして開催したもの</p> <p>2 期日 令和元年9月21日(土)</p> <p>3 内容 太平洋戦争で旧日本軍の兵士として出征し、生還した父親の体験を中心とした講話</p> <p>4 参加者 約130名</p> <p>5 その他 第8回学都松本フォーラム内で開催</p>	
職員研修	<p>1 研修名 平和推進事業研修</p> <p>2 期日 令和2年2月13日(木)</p> <p>3 対象 全職員(特に採用1～5年目の職員)</p> <p>4 講師 平和事業研修参加者、平和推進課職員</p>	<p>1 研修名 平和推進事業研修</p> <p>2 期日 令和3年1月21日(木)</p> <p>3 対象 全職員(特に採用1～5年目の職員)</p> <p>4 講師 平和事業研修参加者、平和推進課職員</p>

	5 内容 平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会が主催する研修参加者による報告、平和行政の取組み紹介	5 内容 平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会が主催する研修参加者による報告、平和行政の取組み紹介
--	--	--

【職員課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
職員研修	1 内容 人権・男女共同参画 2 期日 令和元年9月25日(水) 3 対象 新規採用職員99名 4 講師 人権・男女共生課職員	1 内容 人権・男女共同参画 2 期日 令和2年9月25日(金) 3 対象 新規採用職員 4 講師 人権・男女共生課職員
職員研修	1 研修名 障害者差別解消法・あいサポーター研修 2 期日 令和元年7月22日(月) 3 対象 全職員37名(部課長人権研修対象) 4 講師 障害福祉課職員	1 研修名 障害者差別解消法・あいサポーター研修 2 期日 令和2年8月19日(水) 3 対象 全職員(部課長人権研修対象) 4 講師 障害福祉課職員
職員研修	1 研修名 人権研修 2 内容、期日等 (1) 海外の男女共同参画の状況を知り、男女共同参画意識の醸成を図るもの。 令和元年9月12日(木) 全職員45名(部課長人権研修対象) (2) 外国人住民等へ伝えるためのコミュニケーションの秘訣を習得するもの。 令和元年10月10日(木) 全職員36名(部課長人権研修対象)	1 研修名 人権研修 2 内容、期日 (1) 外国人住民等へ伝えるためのコミュニケーションの秘策(やさしい日本語)を習得するもの。 令和2年8月5日(水) (2) 性的少数者への正しい理解を深めることを目的に、多様な性のあり方等について学ぶ 令和2年10月14日(水) 3 対象 全職員(部課長人権研修対象)
職員研修	1 研修名 認知症に関する研修 2 期日 令和元年10月2日(水) 3 対象 全職員68名(部課長人権研修対象) 4 講師 高齢福祉課職員	1 研修名 認知症に関する研修 2 期日 令和2年10月9日(金) 3 対象 全職員(部課長人権研修対象) 4 講師 高齢福祉課職員
職員研修	1 研修名 人権啓発研修 2 内容、期日 第1回 令和元年8月27日(火) メンタルヘルス～あなたもゲートキーパー “気づいてつなぐ心の支援”～ 講師 伊藤かおる氏(株式会社コミュニケーションズ・アイ代表取締役社長) 第2回 令和元年9月24日(火) パワハラ防止に役立つ ～怒りのコントロール術～ 講師 土田 英文氏(一般社団法人日本アンガーマネジメント協会) 第3回 令和元年10月17日(木) 外国人と共に働く～「やさしい日本語」とコミュニケーション術～ 講師 佐藤 佳子氏(特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク 日本語教育アドバイザー)	1 研修名 人権啓発研修 2 内容、期日 未定(全4回) 3 対象 全職員

	<p>第4回 令和元年11月26日(火)          ワーク・ライフ・マネジメントを推進し、          すべての職員が輝ける職場環境の実現へ          ～長野銀行 女性活躍推進の取組み～          講師 中平 明美 市(長野銀行長野営業部          法人担当部長)</p>	
--	---	--

【総合戦略課】(政策課)

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
ユニバーサルデザイン意識啓発事業	<p>1 趣旨            平成20年5月に「松本市ユニバーサルデザイン推進基本指針」を策定し、ユニバーサルデザインの考え方をまちづくりの基本的な姿勢として、さらに具体化に向け取り組みを推進する。</p> <p>2 事業内容            (1) 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の開催            (2) 広報まつもと特集号 11月号            (3) 小学校4年生への啓発パンフレット配布【28校 2,500部】            (4) 一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会との連携事業            (5) 出前講座の実施</p>	<p>1 趣旨            平成20年5月に「松本市ユニバーサルデザイン推進基本指針」を策定し、ユニバーサルデザインの考え方をまちづくりの基本的な姿勢として、さらに具体化に向け取り組みを推進する。</p> <p>2 事業内容            (1) 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の開催            (2) 広報まつもと特集号 11月号            (3) 小学校4年生への啓発パンフレット配布【28校 2,300部】            (4) 一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会との連携事業            (5) 出前講座の実施</p>

【地域づくり課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
買い物弱者相談事業	<p>日常の買い物に不便を感じている人の相談に応じ、情報の提供を実施。解決に向けて関係課及び業者・団体等と連携して対応する。            令和元年度相談件数 1件</p>	<p>日常の買い物に不便を感じている人の相談に応じ、情報の提供を実施。解決に向けて関係課及び業者・団体等と連携して対応する。</p>

【市民課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
住民基本台帳事務における支援措置	<p>配偶者からの暴力やストーカー行為及び児童虐待などの被害者を保護するため、申し出に基づき、住民基本台帳の閲覧制限・住民票及び戸籍の附票の写しなどの交付を制限する支援措置を実施しました。</p>	<p>配偶者からの暴力やストーカー行為及び児童虐待などの被害者を保護するため、引き続き支援措置の申し出に基づき、住民基本台帳の閲覧制限・住民票及び戸籍の附票の写しなどの交付を制限する支援措置を実施します。</p>
本人通知制度	<p>代理人申請による住民票の写し、戸籍の謄本・抄本の不正取得や虚偽の届け出を防ぐため、また個人情報保護のため、委任者本人へ通知を速やかに送付しました。            また、個人情報保護の条例による開示請求にも迅速に対応しました。</p>	<p>市民に安心や安全を提供するため、代理人による住民票の写しや、戸籍の謄本・抄本などの不正取得や虚偽の届け出を防ぎ、また個人情報保護のため、委任者本人への通知を速やかに行います。また、個人情報保護の条例による開示請求があった場合には迅速に対応します。</p>

【福祉計画課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
災害時 要援護者 支援プラン 推進事業	<p>1 避難行動要支援者名簿の作成準備 令和2年4月施行の避難行動要支援者名簿の運用に向けて名簿作成に必要な準備を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時等要援護者登録制度と避難行動要支援者名簿の統合作業</li> <li>・名簿登載者に対して、平常時から名簿情報を外部提供することについて意向確認調査を実施 (対象者数 15,388 人、提供者数 13,064 人)</li> <li>・地域関係者(町会、民生委員、防災連合会、消防団)及び関係団体(社会福祉協議会、地域包括支援センター、警察署、消防局)等と調整</li> </ul> <p>2 福祉避難所体制の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本市総合防災訓練にあわせて、福祉避難所開設運営訓練を実施</li> <li>・福祉避難所の設置に関する協定を1法人1事業所と締結 (令和元年度末：28法人70事業所)</li> </ul>	<p>災害時等に困難を抱えやすい高齢者や障害者等の要援護者を支援するため災害時要援護者支援プランに基づき、関係部署間でより効果的で実働的な要援護者支援を推進する。</p> <p>1 避難行動要支援者名簿の運用 平常時から地域関係者(町会、民生委員等)に名簿情報を提供するとともに、地区の実情に応じた避難支援体制づくりを庁内関係課や社協と連携して支援する。</p> <p>2 福祉避難所の体制拡充 避難所生活において配慮が必要な方の2次避難先として、福祉避難所開設運営訓練の実施と必要に応じ福祉避難所開設運営マニュアルの見直し等を行う。</p>

【障害福祉課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
障害者福祉啓発推進事業	<p>1 障害者週間(12/3~12/9)に伴い、障害及び障害者に対する理解推進を図るためのイベントを開催 ○日時 12月5日(木) ○内容 パネルディスカッション、障害者スポーツ体験会</p> <p>2 県や障害者団体と連携し、各種スポーツ大会(7月:松本地区、9月:長野県)や文化芸術祭の開催、後援等を通して障害者の社会参加や市民への理解促進を図った。</p> <p>3 障害者差別解消法の周知・啓発 「信州あいサポート運動」の紹介を兼ね、研修会を行い障害の種類や状況の周知啓発を行った。</p>	<p>1 障害者週間に合わせたイベントの開催</p> <p>2 障害者文化芸術祭への参加</p> <p>3 研修会による啓発推進</p>
障害者権利擁護推進事業	<p>1 成年後見制度利用支援事業の推進 「成年後見支援センターかけはし」の運営助成</p> <p>2 「成年後見支援センターかけはし」と連携し、権利擁護に係る相談支援体制の充実を図った。</p>	<p>1 成年後見制度利用支援事業の推進 「成年後見支援センターかけはし」の運営助成</p> <p>2 「成年後見支援センターかけはし」と連携し、権利擁護に係る相談支援体制の充実を図る。</p>
高齢者・障害者虐待防止ネットワークによる支援	<p>協議会開催(年2回) 関係団体等の連携、情報交換、事例検討を実施した。また、協議会の事業計画に基づき周知・啓発を通じて虐待防止を推進した。</p>	<p>協議会開催(年2回) 関係団体等の連携、情報交換、事例検討を行う。また、協議会の事業計画に基づき周知・啓発を通じて虐待防止を推進する。</p>

【高齢福祉課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
成年後見制度利用支援事業	判断能力が十分でない認知症高齢者で、成年後見制度の利用が必要な状況にありながら申立人がいない場合に、市長が成年後見等の審判請求を行った。 審判請求件数 13件	判断能力が十分でない認知症高齢者で、成年後見制度の利用が必要な状況にありながら申立人がいない場合に、市長が成年後見等の審判請求を行う。 また、生活保護受給者等が後見人への報酬を支払えない場合に、報酬の助成を行う。
高齢者・障害者虐待防止ネットワークによる支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体の21団体で構成する高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会（以下：協議会）を年2回開催（7/16、1/30）</li> <li>関係団体等との連携・情報交換・事例検討等、事業計画に基づく啓発事業を実施</li> <li>高齢者・障害者虐待防止市民啓発講演会（2/27）⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> <li>関係団体への虐待防止チラシ、リーフレット配布</li> <li>松本駅前広場での虐待防止啓発ポケットティッシュの配布（9/26）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体の21団体で構成する高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会（以下：協議会）を年2回開催</li> <li>関係団体等との連携・情報交換・事例検討等、事業計画に基づく啓発事業を実施</li> <li>第1回協議会で年間事業計画を協議</li> <li>高齢者・障害者虐待防止市民啓発講演会開催</li> <li>ポケットティッシュ配布等による市民啓発活動</li> </ul>
高齢者権利擁護推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>年6回偶数月に市役所本庁舎1階市民相談室で成年後見制度相談会を開催</li> <li>「成年後見支援センターかけはし」に近隣の2市5村で運営費を補助。権利擁護に係る相談、後見支援体制に充実を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年6回偶数月に市役所本庁舎1階市民相談室で成年後見制度相談会を開催</li> <li>「成年後見支援センターかけはし」に近隣の2市5村で運営費を補助。権利擁護に係る相談、後見支援体制に充実を図る。</li> </ul>

【健康づくり課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
自殺予防対策事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>自殺予防対策推進協議会の開催 7月19日（金）</li> <li>相談支援事業 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設 相談日数240日 実人数55人、延べ人数1,362人</li> <li>気づき見守る地域づくり 地区役員及び希望する団体への自殺予防・こころの健康に関する講座の開催 （106回 2,371人）</li> <li>普及啓発の推進 (1) 若い世代への啓発 ア 中学2年生とその保護者への自殺予防に関するパンフレット、リーフレットの配布 （市内中学校2年生2,308人とその保護者） イ 中学3年生・高校3年生への啓発 （新生活応援レシピへの自殺予防に関する</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>自殺防対策推進協議会の開催 7月・2月 開催予定</li> <li>相談支援事業 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設</li> <li>気づき見守る地域づくり 地区役員及び希望する団体への講座の開催</li> <li>普及啓発の推進 (1) 若い世代への啓発 中学2年生とその保護者、小学4年生とその保護者への自殺予防に関するパンフレット、リーフレットの配布 市内高校等への相談窓口啓発ステッカー</li> </ol>

	<p>内容の掲載 中3: 2, 499人、 高3: 2, 840人へ配布)</p> <p>ウ 小学4年生に自殺予防のリーフレット (絆創膏) の配布 (市内小学校4年生: 1, 979人)</p> <p>(3) 広報まつもとによる啓発 (特集号掲載9 月号)</p> <p>(4) 自殺対策強化月間 (3月) にあわせ、図 書館にて 自殺予防・こころの健康に関す るテーマ展示</p> <p>5 自死遺族等への支援 「分かち合いの会」等の周知及び会場の確保</p>	<p>の配布</p> <p>(2) 街頭キャンペーンの実施</p> <p>(3) 広報まつもとによる啓発 (特集号掲載)</p> <p>(4) 図書館でのテーマ展示</p> <p>5 自死遺族等への支援</p>
エイズ・ 性感染症 予防事業	<p>1 松本市エイズ・HIV等性感染症予防啓発 推進協議会の開催 令和元年8月7日 (水)</p> <p>2 協議会内に小委員会を設置し、課題を協 議・検討する体制づくり 「こどもの教育」専門部会: 1回開催、 「施設受け入れ」専門部会: 1回開催</p> <p>3 出前講座の実施 学校 94回、7, 969人</p> <p>4 施設・事業者向け研修会 2回開催</p> <p>5 街頭啓発キャンペーンへの協力 令和元年11月25日 (月) 松本駅で啓 発用ティッシュ配布 (松本保健福祉事務所主 催)</p>	<p>1 松本市エイズ・HIV等性感染症予防啓発 推進協議会の開催 (令和2年8月予定)</p> <p>2 協議会内に小委員会を設置し、課題を協 議・検討する体制づくり 「こどもの教育」専門部会: 1~2回開催、 「施設受け入れ」専門部会: 1~2回開催</p> <p>3 出前講座の実施 学校他</p> <p>4 施設・事業者向け研修会 1~2回開催</p> <p>5 街頭啓発キャンペーンへの協力 令和2年11月松本駅で啓発用ティッシュ 配布 (松本保健福祉事務所主催)</p>

### 【こども育成課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
子どもの 権利推進 事業	<p>子どもの権利に関する施策を推進するため、 策定した「松本市子どもにやさしいまちづくり 推進計画」に基づいて、地域の中で子どもが一 人の市民として尊重される基盤づくりに取り組 みます。</p> <p>1 子どもにやさしいまちづくり委員会の開催 5月27日 (月)、7月18日 (木)、 10月10日 (木)、12月19日 (木)、 1月20日 (月)、2月10日 (月) に委員会 を開催し、令和2年度からの第2次計画策定 に向けた取り組みをしました。</p> <p>2 子どもの権利相談室「こころの鈴」の運営 「相談室案内カード」、「こころの鈴通信」を 市内小中学校、高校に配布したほか、児童館・ 児童センターへの出前学習会を実施しまし た。</p>	<p>子どもの権利に関する施策を推進するため、 策定した「第2次松本市子どもにやさしいまち づくり推進計画」に基づいて、地域の中で子ど もが一人の市民として尊重される基盤づくりに 取り組みます。</p> <p>1 子どもにやさしいまちづくり委員会の開催</p> <p>2 子どもの権利相談室「こころの鈴」の運営</p> <p>3 子どもの権利の普及・啓発事業</p> <p>4 まつもと子どもスマイル運動の実施</p> <p>5 まつもと子ども未来委員会の開催</p> <p>6 先進都市との子ども交流事業の実施</p>

	<p>相談件数 延べ 473件</p> <p>3 子どもの権利の普及・啓発事業  (1) 市内小中学校に学習パンフレット及び子どもの権利ニュースを配布しました。  (2) 11月に市内の小中学校において、校内放送を利用して子どもの権利の周知を図るとともに、市内大型店舗でパネル展を実施しました。  (3) 12月1日(日)に「子どもの権利の日 市民フォーラム」を開催し、市民に広く周知を図りました。</p> <p>4 まつもと子どもスマイル運動の実施  登録者数：1,242名</p> <p>5 まつもと子ども未来委員会の開催  開催回数：16回  延べ参加者数：313名</p> <p>6 先進都市との子ども交流事業の実施  宗像市・福津市との交流(宗像市内)  8月6日(火)～9日(金)参加者10名</p>	
<p>青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会の開催</p>	<p>1 「地方青少年問題協議会法」及び「松本市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会条例」により設置され、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立のための審議及び連絡調整を行っています。</p> <p>2 構成等  ・委員数 32人(定数35人)  ・委員 会長 松本市長  関係行政機関、学校教育関係者、保健医療関係者、有識者</p> <p>3 開催日・内容  (1) 7月8日(月)に会議を開催  (2) 内容  ア 青少年問題に関わる取組み  イ 子どもの権利推進事業に関わる取組み  ウ 子どもの未来応援事業の取組み  エ 市内小中学校のいじめの状況について  オ 青少年ホームの取組み</p>	<p>1 「地方青少年問題協議会法」及び「松本市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会条例」により設置され、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立のための審議及び連絡調整を実施</p> <p>2 開催日・内容  (1) 開催日 令和2年7月31日(金)  (2) 内容  ア 報告事項  (ア) 青少年問題に関わる取組みについて  (イ) 子どもの権利推進事業に関わる取組みについて  (ウ) 子どもの未来応援事業の取組みについて  (エ) 内小中学校のいじめの状況・取組みについて  (オ) 青少年ホームの取組みについて  (カ) 新型コロナウイルス感染症対策について  イ 協議事項  (ア) 子どものメディア環境について  (イ) 松本市の補導活動の在り方について  (ウ) その他</p>
<p>メディア・リテラシー講座</p>	<p>メディアを読み解く力の育成」をテーマに、市内小中学校で、親子を対象にITの専門家を講師とした啓発講座を開催  令和元年度実績  小学校 22校 2,036人(児童)</p>	<p>児童や生徒がインターネットやスマートフォンの適切な使い方やルールづくりなどを学ぶための「メディア・リテラシー講座」を市内の小中学校の児童・生徒、保護者、教師を対象に開催</p>

	中学校 8校 2,454人(生徒) 小中学校 0校 0人(児童・生徒)	
--	--	--

【こども福祉課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
児童虐待相談事業	<p>児童虐待を含む子育て相談に対応するとともに、庁内関係課、教育委員会等と情報共有を行い、適切な支援の実現を図った。また、子育てを行う親を対象とした講座を開講し、子どもの養育環境改善に努めた。</p> <p>1 処遇検討会議 ケースワーカー、家庭児童相談員、女性相談員、保健師、保育士、教育相談員、教育委員会指導主事による検討会議で、情報共有と対応方針の協議を行った。 新規家庭児童相談 438件 (内：児童虐待 36件)</p> <p>2 子育て支援講座 児童虐待の予防を目的に、子育てを行う親に対しペアレントトレーニングを実施した。 9回開催 延べ96人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童虐待防止、予防のため関係機関との連携を密にするとともに、迅速な対応と必要に応じた的確な支援の実施</li> <li>庁内関係課等との処遇検討会議の継続実施</li> <li>児童虐待予防を目的としたペアレントトレーニングの提供により、子どもに対し不適切な対応をしている親に暴力や暴言を使わずに子どもを育てる技術を伝え、虐待の予防や回復を目指す。</li> </ul>
要保護児童対策地域協議会運営	<p>児童虐待防止のため関係機関との連携を図り、早期発見、早期対応に努めている。年1回の代表者会議に加え、年4回の実務者会議では虐待ケースの進行管理を行うとともに、個別ケースの支援会議を随時開催により、要保護児童世帯に対する効果的対応、支援を行った。</p> <p>また、新生児の養育が困難となることが予測される妊婦を特定妊婦とし、年4回の実務者会議(特定妊婦)の開催により、胎児と妊婦の安全確保に努めた。</p> <p>1 代表者会議 1回 2 実務者会議 8回 (うち特定妊婦に関する会議4回)</p>	<p>児童虐待防止のため関係機関との連携を図り、早期発見、早期対応を目的に代表者会議及び年8回の実務者会議を開催</p> <p>1 代表者会議 1回 2 実務者会議 8回 (うち特定妊婦に関する会議4回)</p>
児童虐待防止啓発事業	<p>毎年11月の児童虐待防止推進月間中にオレンジリボンキャンペーンを実施し、児童虐待防止に向けた市民の意識向上を図った。</p> <p>1 第5回ながの子ども虐待防止オレンジリボンたすきりレーへの参加 2 映画上映会・研修課開催 3 啓発グッズの配布、懸垂幕・横断幕の掲揚</p>	<p>児童虐待防止推進月間にオレンジリボンキャンペーンを実施するとともに、啓発グッズの配布、広報まつもとに特集ページを掲載、懸垂幕・横断幕の掲示を実施</p>
子どもの未来応援事業	<p>平成29年4月に策定した「松本市子どもの未来応援指針」に基づき、子どもの権利侵害が発生する恐れのある状態を子どもの貧困と捉え、関連施策を推進した。</p> <p>1 子どもの居場所づくり推進事業 子どもの孤食や欠食を防ぐとともに、学習支援や保護者支援を行い、地域の中に健康と安全を守るための居場所づくりを通じて子ど</p>	<p>庁内推進会議の開催を通じて、関係施策を推進するとともに、子どもの居場所の拡大を図る。</p>

	<p>もの自己肯定感向上を図った。</p> <p>1 2会場10団体で実施</p> <p>2 交付金団体との連絡会議 子どもの居場所づくりに取組む団体との協議を行い、効果的な居場所運営に関する情報を共有した。</p> <p>3 子どもの居場所づくり推進事業報告書の作成事業報告書を作成し、事業の周知、拡大を図った。</p>	
ひとり親相談事業	<p>ひとり親家庭の総合的な相談に応じ、必要に応じて母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付制度の利用を勧めるなどの経済的支援や、母子生活支援施設への入所措置等、自立に必要な支援を実施した。</p> <p>相談件数 328件</p>	<p>ひとり親家庭の総合的な相談に応じ、その自立に必要な指導、支援、情報提供を行い福祉の増進を図る。</p>

【労政課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
職業・労働相談	<p>職業相談、雇用、賃金、労働時間、職場のトラブルなど、労働関係全般にわたる相談について、専任の相談員を配置して対応しているもの。</p> <p>1 相談日 平日の午前9時～午後5時 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)</p> <p>2 実績 年間相談件数 114件 ※求人票関係の相談を、令和元年度からセンター1階ロビーでの自由閲覧に変更</p>	<p>職業相談、雇用、賃金、労働時間、職場のトラブルなど、労働関係全般にわたる相談について、水曜日には専任の相談員を配置して対応しているもの。</p> <p>1 相談日 平日の午前9時～午後5時 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く) ※水曜日以外については職員が対応し、必要に応じて相談員に確認して相談に応じる。</p>
勤労者心の健康相談	<p>仕事や家庭・人間関係などで悩んでいる勤労者及びその家族、会社関係者等を対象に、専門のカウンセラーが相談に応じているもの。</p> <p>1 相談日 毎月5回 定例日の午後1時～5時 (第1月曜日は午前8時30分～11時30分)</p> <p>2 実績 年間 123件</p>	<p>仕事や家庭・人間関係などで悩んでいる勤労者及びその家族、会社関係者等を対象に、専門のカウンセラーが相談に応じているもの。</p> <p>相談日 毎月5回 定例日の午後1時～5時 (第1月曜日は午前8時30分～11時30分)</p>
労働相談支援事業	<p>労使関係や日常生活での悩みなど諸問題の解決を図るため、NPO法人ユニオンサポートセンターに委託して専門の相談員(社会保険労務士など)が相談に応じているもの。</p> <p>実績 年間相談数3,838件</p>	<p>労使関係や日常生活での悩みなど諸問題の解決を図るため、NPO法人ユニオンサポートセンターに委託して専門の相談員(社会保険労務士など)が相談に応じているもの。</p>
中信地区労働フォーラム	<p>労働諸法、労働経済情勢などの学習の場として、長野県との連携により、中信地区労働フォーラム(労働問題専門講演会、労働教育講座など)を開催し、労働者の意識向上に努めているもの。</p> <p>①開催日 令和元年9月3日(火) 「働き方改革関連法Q&amp;A ～有給休暇義務化、残業時間上限などの具体的対策～」</p>	<p>労働諸法、労働経済情勢などの学習の場として、長野県との連携により、中信地区労働フォーラム(労働問題専門講演会、労働教育講座など)を開催し、労働者の意識向上に努めているもの。</p> <p>労働問題専門講演会や労働教育講座などを2回開催予定</p>

	講師 特定社会保険労務士 中谷 幸喜氏 ②開催日 令和2年2月20日(木) 「ハラスメント防止研修 ～ハラスメントのない、温かい職場づくりのためのコミュニケーション～」 講師 信州ライフキャリア研究所代表・長野県特別相談員 折山 旭 氏	
--	---	--

【住宅課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
市営住宅へのDV被害者受入事業(緊急入居)	DV被害者を市営住宅へ緊急入居者として受け入れるもの(期間3ヵ月、最長1年、実績0件)	DV被害者を市営住宅へ緊急入居者として受け入れるもの(期間3ヵ月、最長1年)

【教育政策課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
第2次松本市教育振興基本計画の推進	施策別主要事業の進捗状況を確認し、各事業の確実な実施と改善、及び社会情勢の変化に対応した新規の人権施策等の推進に努めました。概要版リーフレットを更新し、引き続き松本市子どもの権利に関する条例や、多様性の大切さを記載し、各施設に配布するとともに、あらゆる機会をとらえ人権の大切さを周知しました。	引き続き施策別主要事業の進捗状況確認を行い、各事業の確実な実施と改善を行うとともに、第3次計画策定に向けた、人権に関する社会情勢の分析などに取組みます。
まつもと市民生きいき活動の推進	時代が変わっても変わることの無い大切な「不易」な活動に取組むきっかけとして、広報まつもとで市内各地域での実践事例を年4回紹介しました。また、令和元年9月21日(土)・22日(日)第8回学都松本フォーラムを開催し、本活動について周知しました。 こども部の「まつもと子どもスマイル運動」と連携したリーフレットを更新、全戸配布し周知に努めました。	引き続きあらゆる機会を捉え、それぞれが「まつもと市民生きいき活動」の周知を実施します。 ・広報まつもとで市内の実践事例を紹介します。 ・こども部の「まつもと子どもスマイル運動」との連携推進について検討を続けます。

【学校指導課】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
学校人権教育研究協議会	1 内容 (1) 講演「同和教育に関する講演会」 (2) グループ別研究協議会 2 期日・会場 7月12日(金) 教育文化センター	1 内容 (1) 講演会 (2) グループ別研究協議会 2 期日・会場 7月10日(金) 教育文化センター ⇒新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止

人権教育 研修会	1 学校人権教育研修・連絡協議会 5月29日(火) 長野県総合教育センター 2 人権教育研修会への参加 7月31日(火) 合同庁舎	1 学校人権教育研修・連絡協議会 5月26日(火) 長野県総合教育センター ⇒学校人権教育研修・連絡協議会は中止 2 人権教育研修会への参加 7月30日(木) 合同庁舎
冊子の作 成と活用	1 「教師自身の豊かな人権感覚」 教師自身が 子どもたちと生活の中で自己の人権感覚のあり 方を省みるもの 2 「学校人権教育実践記録」 学校における人 権教育実践記録	1 「教師自身の豊かな人権感覚」 教師自身が 子どもたちと生活の中で自己の人権感覚のあり 方を省みるもの 2 「学校人権教育実践記録」 学校における人 権教育実践記録
公開授業 の実施	市内5つのブロック中心校による研究及び公 開授業 1 全市公開校 ・本郷小学校 2 ブロック中心校 ・芳川小学校 ・菅野中学校 ・清水小学校 ・梓川小学校	市内2校による研究及び公開授業の実施 全市公開校 ・筑摩野中学校 10月23日(金) ・山辺小学校 11月20日(金) ⇒全市公開は中止とするが、校内研究実践に は取り組む
児童のた めの人権 教室	交流体験教室 中国料理「肉まん」作り 11月9日(土) Mウイング	交流体験教室 内容、期日、実施可否も未定

【生涯学習課・中央公民館】

事業名	令和元年度実績	令和2年度計画
多文化 共生事 業	<p>地域在住の外国由来の住民を対象に、日本語習得の機会の提供とともに、学習を通じて相互理解を深めながら多文化共生社会の実現を目指す。</p> <p>1 日本語講座 4月～2月(全34回)、延べ680人参加 中央公民館のほか、庄内地区公民館、松南地区公民館、芳川公民館、波田公民館で実施</p> <p>2 木曜午前ボランティア日本語教室 4月～2月(全37回)、延べ927人参加 外国籍住民を対象に日本語取得の機会を提供する。</p> <p>3 松本市ヤングにほんご教室 4月～2月(全71回)、延べ1,050人参加 学齢期を過ぎた外国由来の青少年の高校進学や就職に向けた日本語の学習支援として開催</p> <p>4 松本みんなのにほんご教室 4月～2月(全67回)、延べ1,058人参加 外国由来の就学・就労希望の成人に対してのにほんご学習支援</p>	<p>地域在住の外国由来の住民を対象に、日本語習得の機会を提供。また、学習を通じて相互理解を深めながら多文化共生社会の実現を目指す。</p> <p>1 日本語講座 中央公民館、庄内地区公民館、松南地区公民館、芳川公民館、波田公民館で実施</p> <p>2 木曜午前ボランティア日本語教室 6月～3月(全29回) 外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供する。</p> <p>3 松本市ヤングにほんご教室 6月～3月(全61回) 学齢期を過ぎた外国由来の青少年の高校進学や就職に向けた日本語の学習支援として開催</p> <p>4 松本みんなのにほんご教室 6月～2月(全53回) 外国由来の就学・就労希望の成人に対しての日本語学習支援</p> <p>5 日本語ボランティアきっかけ講座 開催時期等未定 指導ボランティア不足解消に向けた基礎講</p>

	<p>5 松本国際ふるさと祭り「第10回こいこい松本」 6月23日(会場:Mウイング)、800人参加</p> <p>参加各国のブースでの対話、文化体験、民族衣装の試着、長野県共催のパネルディスカッションの開催など</p> <p>⇒通年事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響から3月は開催を見送っている。</p>	<p>座</p> <p>6 日本語ボランティアスキルアップ講座 開催時期等未定 指導ボランティアの発展学習講座</p> <p>⇒・通年事業については、新型コロナウイルス感染症の影響から4月、5月の開催は見合わせている。 ・例年開催をしている松本国際祭り「こいこい松本」は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度開催を中止とした。</p>
人権・平和学習	<p>戦後を問う会・まつもと 通年(全12回)、延べ36人参加</p> <p>参加者が人権・平和の視点から世の中の動きについて自由に意見交換し、学習を深める場として開催</p> <p>令和2年度から自主的な運営を行う学習活動団体へと移行した。</p>	
障害者学習支援事業	<p>聴覚障害者の学習支援と社会参加への意識向上を目指すとともに、共生社会の実現に向け、障害への理解を深め、人権・ノーマライゼーション意識を醸成する。</p> <p>1 聴覚障害者と学ぶ成人学校 10月～2月(全5回)、延べ77人参加 今年度は、「生活に役立つ知識」をテーマに5講座を開催</p> <p>2 手話教室 (1) 入門手話教室「手話はじめの一步」 初心者対象の日常生活に関する手話教室を開催 10月～2月(全8回)、延べ162人参加 (2) ステップアップ手話講座 手話奉仕員養成講座修了程度を対象に講座を開催 5月～10月(全10回)、延べ132人参加</p> <p>3 パラスポーツ(ボッチャ)教室 以下事業を開催。延べ113人参加 (1) ボッチャ体験会 初心者対象の体験会を開催 (2) ボッチャサポーター養成講座 (3) ボッチャ審判体験会 (4) ボッチャ審判員養成講習会</p> <p>⇒入門手話教室とパラスポーツ(ボッチャ)体験教室のうち、3月実施予定であったものは、新型コロナウイルス感染症の影響から中止し</p>	<p>聴覚障害者の学習支援と社会参加への意識向上を目指すとともに、共生社会の実現に向け、障害への理解を深め、人権・ノーマライゼーション意識を醸成する。</p> <p>1 聴覚障害者と学ぶ成人学校 10月～2月(全5回)、募集人員:40人</p> <p>2 手話教室 (1) 中級者向け手話教室 10月～3月(昼・夜、各10回)、 募集人員:15人 (2) 初心者向け手話教室 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から開催を見合わせる。</p>

	ている。また、パラスポーツ（ボッチャ）体験教室のうち、10月14日開催のものは、台風19号の影響から規模を縮小して実施	
地域課題解決に向けた学習活動の展開（地区公民館）	地区人権啓発推進協議会をはじめ、公民館委員、学級講座の企画委員、地区担当職員などによる話し合いから、地域課題の解決に向けた地域づくり学習、活動として実施。	地区人権啓発推進協議会をはじめ、公民館委員、学級講座の企画委員、地区担当職員などによる話し合いから、地域課題の解決に向けた地域づくり学習、活動として実施。